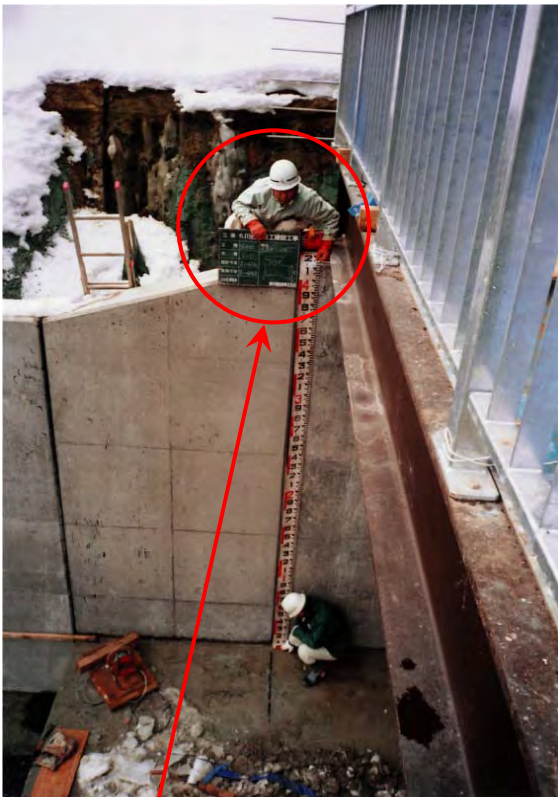


15. 頭首工工事

15-1 本体工

(1) 堰柱工の出来形確認状況（高さ）



撮 影 方 法

- 撮影部位が全体のどこに位置するかわかるように撮影する。
- 高所での撮影は落下防止対策を十分に行う。

留 意 事 項

- ピンボールが細くて見えにくく、上端の実測寸法がわからない。 幅の広いあて木などをあてる。
- リボンロッドは、垂直にたるませないように緊張を加える。



黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 測定位置
- 作業内容
- 設計寸法・実測寸法
- 構造物の略図を記入し、測定箇所を赤で表示する。

留 意 事 項

- 黒板を正面に向ける。
- 全体写真と撮影方向を同じにするため、ズームで正面方向から撮影する工夫をする。
- 天端にあて木をおき、実測寸法が確認できるようにする。

15-2 護床ブロック（異形ブロック）

（１）基礎地盤の堀削状況



留意事項

- マーキングがあるので掘削範囲がよくわかる。
- 地質・岩質の施工条件に留意しながら撮影する。

撮影方法

- 施工前・施工後の状況とともに、使用機械がわかるように撮影する。
- 施工箇所がわかるようにマーキングする。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容
- 使用機械名
- 地質・岩質を記入する。

（２）護床ブロックの据付状況



留意事項

- クレーン車、据付位置、据付状況がよくわかる。
- 黒板を入れて作業内容がわかるようにする。

撮影方法

- クレーン機種がわかるとともに、据付状況も把握できるようなアングルで撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 作業内容
- 使用機械名・規格等
- ブロックの規格・数量
- ブロックの配置図などの略図を記入し、ブロックの据付位置を表示する。